

境川



第158号

発行

境川中学校広報委員会

令和元年度後期



—目次—

P2	合唱コンクール	12月13日発行
P3, 4	ボランティア活動 岐阜市第4ブロック・且格・鶉・柳津	
P5	中学生を見守る人々 補導員・巡回活動・羽島署生活安全課	
P6	学校の1日	
P7, 8	夢特集・アンケート	
P9, 10, 11	本音で保護者トーク「夢」	
P12	職場体験	
P13	地域交流活動・生徒会	12月24日発行
P14	続・広報紙作りの現場から	
P15~18	祝・卒業	3月4日発行
P19, 20	P T A	

境川中学校PTAホームページ
<http://sakaigawa-pta.com/>



境川中学校 P T A
Sakaigawa JHS PTA Website



境川中学校広報紙はホームページ発行のみとなりました。
印刷物をご希望の方は、広報委員会までお知らせください。実費で配布いたします。
問合せ先 sakaigawa.koho@gmail.com

合唱フェスティバル

10月31日

響け
仲間の熱い想い

最優秀賞

3-1



「はじまり」

3年1組の学級目標は「光合成」です。仲間の良さを吸収しながら成長していこうという意味が込められています。私達は合唱フェスに向けて歌が得意な人の良さを吸収しながら聴いた人が感動できるような合唱を目指して取り組んできました。

この曲はゼロからスタートという意味があります。私達は初め孤独でしたが出会った人達と共に今を生きています。それを伝えるためにスケールが大きく壮大な曲に挑戦しました。

男声が2部に分かれるところ、テンポが変わるところは、きれいだけど力強さのある合唱にすることが難しく、何度も何度も練習してきました。

3年1組でしか表現できないこの歌をこのステージで歌えることを幸せに思います。

出会った家族や仲間、先生達に感謝してみなさんに感動を届けます。

特別賞

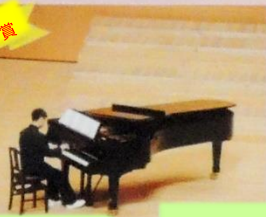
2-4



「空駆ける天馬」

1978年の古くて難しい曲、チャレンジしてうまく歌えました。

ベスト
ピアニスト賞



奥村一敬さん

技術力が
高いです

ベスト
3人が賞



左合七彩さん 審査委員長
松井裕樹先生

手を落下させる
感じがうまいです



ベスト
ピアニスト賞

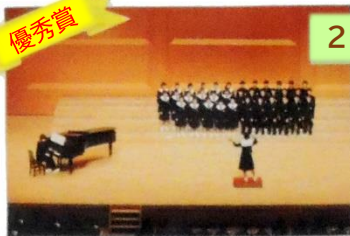


廣瀬太志さん

演奏が
丁寧でした

優秀賞

2-1



優秀賞

1-1



優秀賞

3-3



2-7



1-4



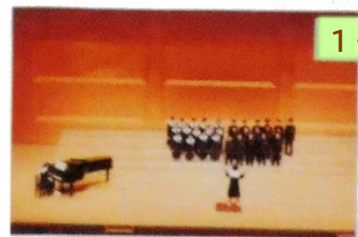
3-8



コーラス部



1-5



ボランティア活動

岐阜市第4ブロックの活動

青年国際交流会

9月8日(日)

市橋コミュニティーセンター

「ネパール」



イベントの司会を体験



ネパールの楽器を体験

中学校を通じて募集された青年国際交流会に、10人の境中生がボランティアとして参加しました。

イベントの準備、運営をお手伝いしながら、ネパールの自然、文化、歴史、食事などを学びました。

且格校区の活動

且格校区では、中学生の約1/3の生徒が「中学生ボランティアグループ」に参加し、グループで活動しています。募集は1回/年、灯籠祭り、防災訓練、市民運動会が主な活動です。

一番のイベントは、灯籠祭り。中学生が中心となって企画運営をおこない、地域の方も一緒になって盛り上げる行事になっています。高校生大学生の先輩方もお手伝いに参加します。

「地域が高齢化して行事が少なくなっているのが寂しい。何か行事をやりたい。」と当時中学生の先輩が中心になって、11年前にスタートし、今に続いています。



青少年育成 川田さん
自分たちでやり抜く力を付けるため、大人は手助けするのみに子どもたちに任せるようにしています。自分でやった方が早いのですが、それでは力が付きませんので。



境川中 2年生
Q:どんなきっかけで参加しましたか?
A:お兄さん、お姉さん方が活動しているのを見て、中学生になったら参加したいと思っていました。

灯籠祭り



高校生のお姉さんに教えてもらいながら、アナウンス原稿を作成。



班に分かれて役割分担。



司会も中学生ボランティア



本日はありがとうございました。礼!

校区運動会



校区運動会でも活躍

鶉校区の活動

鶉校区では、まちづくり協議会から夏まつり、防災鶉オッチ、体育振興会から校区民体育祭など、ボランティアの依頼があります。鶉の中学生だけでなく、柳津、且格からも参加しています。
中学校を卒業したお兄さん、お姉さんも加わって、楽しくボランティアをしています。

親子ふれあい教室



お母さんが話を聞いている間、赤ちゃんをあやしたり、一緒に遊んだりしました。

夏まつり



参加した各団体のお店や、ゲームのお手伝いをしました。

校区民体育祭



防災鶉オッチ



鶉地域のボランティア活動に、毎年、多くの中学生に活躍いただいて、とても感謝しています。鶉地域では、境川中を卒業した先輩もボランティアとして頑張っています。皆さんも高校生になっても積極的にボランティア活動に参加していただくと嬉しいです。



青少年育成
市民会議
岩田さん

柳津校区の活動

柳津校区では、青少年育成市民会議、小学校、まちづくり協議会、自治会など様々な団体から、行事ごとにボランティアの依頼があります。今年、新たに子ども会から「球技大会を手伝ってほしい」、青少年育成市民会議から「ラジオ体操の運営をしてほしい」との依頼がありお手伝いしました。多くのイベントで大活躍する、なくてはならない戦力です。

まちづくり協議会



柳津小学校



子ども会



11名の中学生がボランティアで参加してくれました。体操のお手本や、一緒にスコア確認をしてもらいました。楽しそうに活動してくれて、とても頼もしい存在でした。



子ども会
清水さん

青少年育成市民会議



中学生を見守る人々

補導員



地域補導委員会

3校区の各種団体から各7名、計21人が選任されて活動しています。境川中学校からは2人の地区委員長が選任されています。今年はまだまたPTA会長、広報委員長も加わっています。



鶉



日置江



柳津

鶉、日置江地区では青パトによる巡回活動が週に3～4日程度行われています。朝夕は子どもたちの通学時間に合わせ交通安全、夜は防犯を主な目的に活動しています。青パトの無い柳津地区では、ふれあい夏祭り、夏休みの時期に夜間巡回指導を行っています。

こうした地域の方たちの見守り活動によって、子どもたちが安全に通学・生活することができています。

「最近の子どもたちは夜間に出歩くことがめっきり減った」という声が多く、むしろSNSによるトラブルを心配する声が増えています。

岐阜羽島署生活安全課

少年補導担当 黒田さんインタビュー

黒)：黒田さん
広)：広報



広) 最近の境川中学校の生徒に関わることで何か気になることはありますか？

黒) 羽島署管内では、気になる行動はなく落ち着いています。喫煙や深夜徘徊など、そういう外に出ての補導をすることは、全国的にも県下的にも年々減少傾向にあり、羽島署管内でも同じ傾向です。境川中学校区に関しては、バイクで近所迷惑な音を出しながら走行するという事案はときどきありますが、それも昨年に比べれば減っています。自転車盗や万引きなどの犯罪で警察に補導されたという事例もありません。人づてには補導が多かった時期もあったと聞いていますが、私が担当している去年と今年に限って言えば、他の学校と比べても悪い印象はありません。

広) では、今のまま落ち着いて生活していけばよいということですね。他に何か気をつけたほうが良いことは？

黒) SNSやインターネットに関係した相談やトラブルは増えています。分かりやすく目に見える非行と違って、表に出てきたときには事態が深刻になっているので、子どもたちには、「普段から早め早めに相談してほしい」と啓発活動をしています。でも子どもたちは大人より自分たちのほうがそういうものに詳しいという考えがあるので、「どうせ親に言ったって」と思ってしまうし、悪いことをしているという罪悪感もあるので相談をためらってしまうようです。だからなかなか言い出せなくて、そうこうしているうちに本当に警察でお世話になるしかない状況に陥ってしまいます。例えば画像が拡散してしまうというトラブルが起きた場合、そうなってしまった後では私たちが画像を100%削除することはできません。何とかそうなる前に相談してほしいですね。

広) 中学生だと携帯電話を持っている子と持っていない子がいます。うちの子は持っていないので、例えば友だちの携帯で写真を撮るといったことになったときに、「撮ってもSNSにアップするのはやめてねとお願いするんだよ」とか「そもそも写真と一緒に撮らないほうがいいんだよ」と言っただけですが、実際その場面を想像すると、子どもが友だちにそんなことを

お願いしたり断ったりするのは難しいのかなと思います。

黒) 同意を得ずに友だちの写真をインターネット上にアップするのは、肖像権の侵害になります。それは法律に触れることだ、してはいけないことだと、教えていくしかありません。ありとあらゆる危険性があるので、何に焦点を当てるかにもよりますが、1個1個、保護者さんが教えていくことが必要だと思います。例えばアップした写真で友だちが学校の制服を着ていて、それによって人や場所が特定されてしまうと、ストーカー被害に遭うという可能性もあります。

広) 携帯電話などのツールを持たせる場合には、保護者がきちんとルールを教えるということが大事ですね。

黒) 持たせる前に家族で話し合っただけで決めて、それを守るという約束を持たせるといいです。実際に警察で取り扱った事例で、深刻なものだと、SNSを通して知り合って誘拐されたり、裸の画像を送って拡散されたりしたものがあります。日頃から家族でコミュニケーションをとって子どもにインターネットの危険性を教えることが大切です。

広) 保護者には分からないうちに犯罪被害に遭っているというのは怖いですね。

黒) 常日頃から子どもの言動や表情をよく観察して、ふさぎこんでいる様子などが見られたら、「大丈夫？」と声をかけてほしいです。そして何よりも、相談しやすい関係を普段から作っているといいですね。

広) そういのが一番難しい年頃でもありますね。

黒) そうですよ。でも何か起こったときに現実世界で助けを求められるかということがとても重要です。誰にも相談できずに「どうしよう、どうしよう」と言っているうちに事態はどんどん深刻になってしまうので。

広) なるほど、よく分かりました。本日はありがとうございました。



学校の1日

11月9日(土)
土曜授業(午後参観日)

教員の長時間労働が話題になっています。岐阜市では、教員の休日を確保するために、夏休みの閉庁日(16日間)を設けるなど様々な取組が行われていますが、平日は、朝早くから遅くまでの授業準備、週末・夏休み期間中には部活動の大会の引率、地域イベントへの参加など、様々な場面で生徒たちのために活動している姿を見かけました。そこで、広報委員が先生方の仕事について知るために「学校の1日」取材しました。

5:30 最初の先生登校(駅伝の引率)

質問:先生早いですね。

答:今日は特別の日(駅伝)ですから…
(予想外に、学校の朝が早すぎて、写真撮れませんでした)



6:00	
7:00	
8:00	8:15予鈴 朝読書 朝の会
9:00	1限目
10:00	2限目
11:00	3限目
12:00	4限目 弁当 昼休み
13:00	掃除 帰りの会
14:00	5限目
15:00	6限目
16:00	16:10 下校完了
17:00	
18:00	
19:00	
20:00	消灯
21:00	



~8:20 登校指導
「いつも 8:20 までには、ほとんどの生徒が登校しています。」



13:10~13:20 掃除
「はじめの会」で打ち合わせをしてから掃除開始。



14:00~(3年生)
体育館で、「進路説明会」



15:50~16:10 下校指導
「一斉下校は、保護者の車が多く、事故がないよう特に気を遣います。」



6:30 駅伝のバス出発



12:45~13:00 昼休み
体操服、制服で元気に遊んでいました。



13:00 体育館準備
みんなで体育館のいす準備



14:00~(1年生)
「原三溪講話」講師市川さんによるお話を聞きました。



19:50 職員室にはまだ明かり
「消灯は20時です。忙しいときは、真っ暗な中パソコンの明かりで残業しています。」
(20:45までには最後の先生が下校していました。)



7:30~8:00 部活動朝練
(バスケット、ハンドボール、ソフトボール)
「いつもはほとんどの運動部が朝練をしていますが、今日は少ないです。」



12:25~ 昼の放送
放送委員は授業が終わって放送室に直行。「いつも給食は放送室で食べています。」



14:00~(2年生)
「職業講話」8つの部屋に分かれて、職業について勉強しました。

取材の感想

当初、1人の先生を対象に「先生の1日」というタイトルで取材依頼をしましたが、プライバシーなどの問題から、「学校の1日」というページになりました。

学校全体の取材の中からも、平日も休日子どもたちのために仕事をしている先生方を垣間見ることができました。改めて先生方には大変頭が下がる思いです。

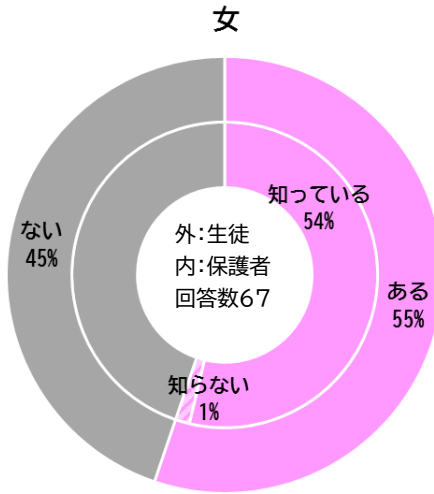
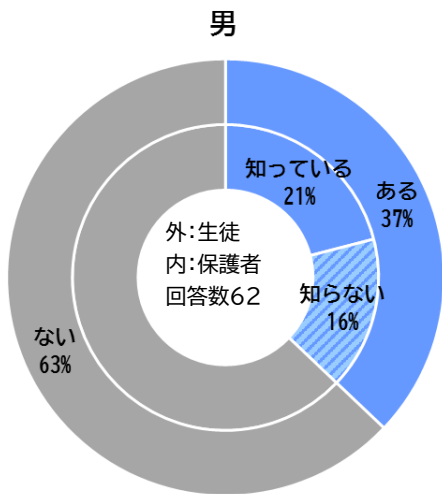


職場体験を終えて、そろそろ、進路、高校を考え始めた2年生に「将来の夢」、そして、保護者に「夢への支援」について聞いてみました。

■就きたい職業について

生徒：将来就きたい職業はありますか。
保護者：お子さんの就きたい職業を知っていますか。

回答率	全体	47%(129/276)
	男子	42%(62/147)
	女子	52%(67/129)

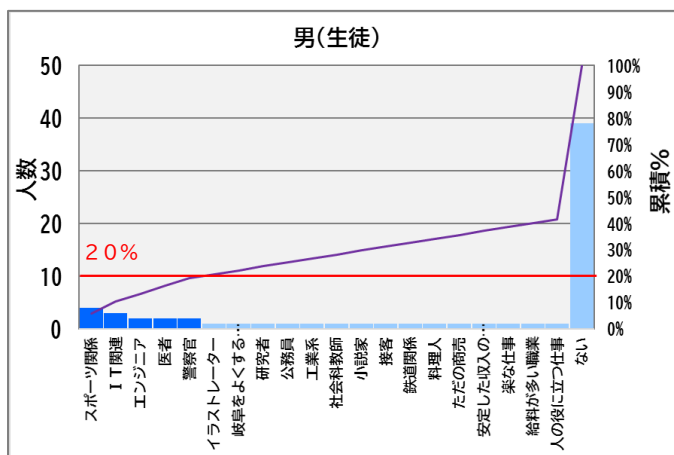


就きたい職業トップ5(男子)

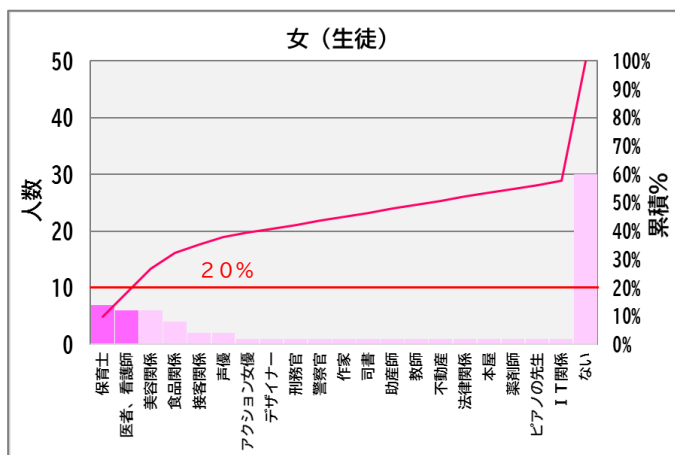
- 1位:スポーツ関係
- 2位:IT関係
- 3位:エンジニア
医療関係(医者)
警察官

就きたい職業トップ5(女子)

- 1位:保育士
- 2位:医療関係(医者・看護師)
美容関係(美容師、ネイリスト)
- 4位:食品関係(パティシエ、料理関係)
- 5位:声優



上位20%の生徒は5つの職業を選択



上位20%の生徒が2つの職業に集中

■お子さんの職業選択に保護者の意向をどの程度反映させたいですか。



- A 子どもの好きなように (関与度 0~20%)
- B あまり関与しない (関与度 21~40%)
- C 半分程度関与 (関与度 41~60%)
- D 強く関与したい (関与度 61~80%)
- E 決まっている(後継ぎ) (関与度 81~100%)
- F わからない

全体の結果から

女子は、保育士、医者、看護師、美容師など接する機会の多い職業に就きたいと考える傾向が強いようです。

一方、男子は、男性の働く職業に接する機会が少ないため「就きたい職業」が分散し、「就きたい職業」がない生徒は女子より多くなりました。

また、女子の方が日頃の会話が多いせい、「就きたい職業」について親子で共有できているようです。

男女とも就いてほしい職業に「本人の希望」を優先する保護者が最多ですが、男子の方がその比率は低くなりました。(男子は、女子よりも親の期待を背負ってプレッシャーを感じているかもしれません。)

女子は、生徒、保護者とも、人を助けることができ、資格を必要とする安定した医療系(医師、看護師)に人気がありました。

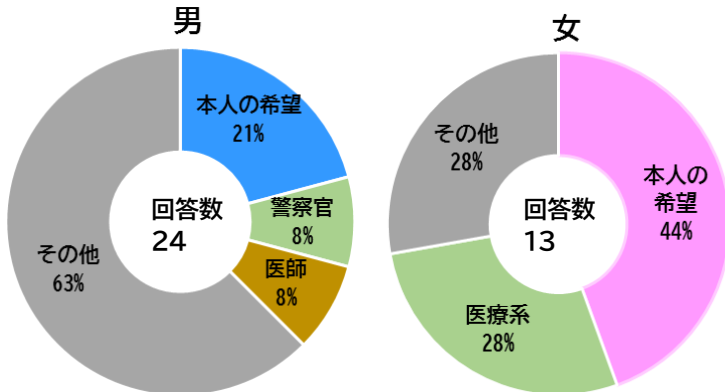
見方を変えると...

AI が職業を一変させ、これまでの枠で考える職業の一部は、将来無くなるとも言われています。

保護者が、今魅力的な職業に子どもを導くことはリスクとなってきました。時代の変化に応じて、自分で職業を探していくよう「本人の希望」を優先する方がより賢い職業選択になっているとも考えることができます。

男子では、AI を操る「IT 関連」、女子では、ホスピタリティーが求められるAI にできない看護師、保育士が上位にランクインしています。子どもたちが時代の変化を敏感に感じている現れではないでしょうか。

■お子さん就いてほしい職業は



■頂いたアンケートの結果から

生徒	保護者
①:性別	⑤:就きたい職業へのサポート
②:就きたい職業	⑥:就いてほしい職業
③:理由	
④:努力していること	

①女
②トイデザイナー
③子どもが楽しんでいるところを見るのが好きだから
④デザインの考案
⑤なりたい職業に就くために必要なスキルを習得できる高校や大学のリサーチ。

①男
②IT 関係
③部活などでパソコンを触っていて、多くのことを理解できているから。
④部活で、プログラムを実際に作ってみたり、関連する本を読んでいること。

①男
②警察官
③人の役に立つ仕事がしたい。
④勉強・情報収集
⑤子どもの話を聞く。現職の人の話を聞く。
⑥警察官

①女
②助産師
③ドラマを見て、やりがいがある、かっこいいと思った。
④相手の立場になって接すること。
⑤高校や大学の相談にのっている。その職業の魅力を伝えている。

①女
②保育士・幼稚園の先生
③小さい子が好き・幼稚園の時の担任の先生に憧れた。
④ピアノ、笑顔で過ごすこと、たくさんの人とかわかること
⑤家事の手伝い、ピアノ、習字など、必要な習い事をさせている。

①女 ②刑務官
③今やっている「剣道」をいかした仕事がしたい。
④2 段をとること。大会で成績を残すために毎日の稽古。剣道強豪校に合格できる勉強。
⑤必要な資格や経歴を子どもと調べる。今必要なことをサポート。

①男
②社会科教師
③社会が好きだから。
④勉強
⑤いろんな職種、いろんな選択肢があることを伝えている。
⑥本人がやりがいをもって働ける職業であれば何でもよいです。

①男
②小説家
③本が好きだから
④毎日、いろんな本を読んでいる。
⑤月に 2 回、市立図書館で本を借りてくる。
⑥とにかく自立できる職業

①女 ②声優のような人を笑顔にできる仕事
③いろんな人が少しでも笑顔でいてくれることがうれしいから。
④声優さんの工夫、日頃から声だけで気分を伝える、周りを笑顔にする方法などを考えている。

①男
②鉄道関係
③鉄道が好きだから
④鉄道の本を読んだり、電車に乗ったりしています。
⑤なるべく、移動は電車を使うようにしている。

①女
②美容師
③両親が美容師で かっこいいと思ったから。
④職場に行ってみたり、調べたり、やってみたりしてる。

①女 ②不動産営業
③親が仕事をしている姿を見て、自分もいっしょにこの職業に就きたいと思った。
④親の職場についていきメモをとり、気になるところの質問。
⑤まずは、私が夢を実現するためにがんばります。子どもに背中、伝えられたら良いなあと思ってます。

本音で 保護者トーク 夢



司会：本日はお集まりいただきありがとうございます。夢」というテーマで話したいと思っています。

A：夢ってありました？私無かったような気がします。

B：両親とも共働きで結構忙しくて、時代的にも、高校行って大学行かせるのが目標、女の子だし・・・「夢は何」と聞かれたことは無かった。いよいよ高校三年生になって大学、進路を決めるときに、親から急に「医療関係にしたら」と言われました。でも文系だし・・・

一同：笑い

B：親も、決めなきゃというときになって、「手に職、資格」と考えたのではと思います。女の子だし・・・

そんな反面教師もあって、「小さい頃から将来の仕事について意識させて育てていかなければ」という思いがあって、いろいろ体験させるよう子育てしています。司会：中学生など進路選択の時に職業を意識していることがすごく大事ですね。

C：親が公務員だったので・・・学生の頃は、「進学の先に就職があって自分でお金を稼がなければいけない」という意識があんまり無かった。

ありがたいことに、高校、大学という道筋は作ってくれたけれど、その先がわからないまま行っていたから、いざ就職となると、そんなに情熱持ってやれないですよ。いま「13歳のハローワーク」という本や職業体験もあります。うつつらとでも「この先あなたも働いて、いざればお金を稼ぐんだよ」と言っていていかなければいけないと思っと思っています。



幻冬舎刊

B：大学に入るのがゴールでなくてその先ですよ。

C：どつちかというとその先の方が大事だよって、早い段階で知っていたかったです。

B：今日、小学校の二分の一成人式で子どもたちが将来の夢を話していました。いろいろ聞いてみると、働く親の姿を見て「お父さん、お母さんと同じ職業」という子どもが結構いらっしやいました。

D：私がパンづくりが好きなもあってか、保育園の時は食パンを食べて「こん

なふわふわのパンを焼きたい。」と言っていました。低学年になったら、ペットシヨップ。私が「かわいだけじゃだめだよ、売れ残ったらどうするの」と言ってしまうました。そしたら、トリマーに変わって。知り合いのお店で、うちの犬で体験させてもらったんです。今はトリマーのはずです。休みのたびにうちの犬で爪をカットしたり、毛を刈ったり、時々やっています。でも理数系嫌いだから・・・

司会：理数系なんですか。

D：病気のことがいろいろあります。またつまずくかなと思いつつ、見えています。そのトリマーの女の子は社会人になつてから自分の夢を諦めきれず、お金を貯めて専門学校に行つて、今やっています。そういう職業選択もあるのかなと思つています。

司会：進学して上の学校へ行けば行くほど、競い合つてみんなと上の大学へ行こうとする、方向がそれについてしまうことがあるように思っています。子どもの時になりたい職業と、周りの子どもたちから影響受けてなりたい職業が変わつてしましますね。

E：大きくなると、現実的に生活のことを考えるから、収入を考えた上でのなりたい職業に変わっていくんですね。

司会：〇〇は収入がいいからと親が・・・

E：夢と言うよりは食べていけるか。現実的な考えが入ってくる。たとえば歌手になりたいと幼稚園の時に言っていたても、歌手になれるのは一握りじゃないですか、現実的には、ただ幼稚園の時はほんとに憧れで言っているけれど、だんだん狭くなっていく。

司会：子どもが納得してそっちの方向に変わってほしいのですけど。

C：大学の就職課の人が、「やりたいことがあって入ってきた学生と、ブランドで大学に入ってきた学生とは、やる気、目の輝きが違う」と言っていました。「親さ

んな収入の高い安定した職業を勧めたくなるのもわかるけど、本人が望んでいないならそれはいい結果にきつたらならない。やりたいことを優先させてあげてほしいです。」と言われました。目から鱗で・・・

娘がある資格の仕事をしたと言いつつ、その仕事ってお金になるのかなって、就職口があるのかって心配は尽きないですけど、あんまり夢を持ってなかった娘がそうやって言ったので、「もうちょっと広げてあげればよかったな」と話を聞いてから考え方が変わりました。「やりたいことが大事、小さい業界でもなんとかが食べていけるのじゃないかな」と考え方が変わりました。

A：うちも何がやりたいかわかりません。



2年生 職場体験

B：自分たちの時代と比べると、中学校では職場体験、小学校では二分の一成人式で将来のこと考えたり、六年生でもそういう行事があったり、下の子四年生でゲームが好きなのでゲームをつくる仕事があったり言っていたら、先生が、「プログラミングとか必要だから、そういうのを目指したら」と言ってくれました。学

校で将来の職業について考える時間を私たちの時代よりは作って下さっているかなと思います。それがすごくありがたいなと思います。



3年生 東京研修（企業訪問）
（株）クリュートメディカルシステムズ

D…今、いろんな職業の体験が出来るところ多いでしょう。チラシで募集しています。ピザ作り体験とかトリマー体験とか、キツザニアにも行かせたかったなと思います。私たちの子どもの頃あんないい施設なかったですね。
C…いろいろな体験できていいですね、今の子は。

司会…でも逆に今の子はそういうところでは体験できなくなつたと感じています。会社員が増えて、子どもは会社の中には入れないですね。昔は自営が多かつたから子どもが働いている姿を見られたんですけれど

C…会社が見えないから子どもが会社員になりたいという気がなくなつたんじゃないかと思えます。

B…親がサラリーマンだと「忙しそうだから頑張っているんだな」と感じていると思います。

たまにテレビでお父さんの職場に行こ

うというのがあって、それでお父さんの職場を初めて知るっていうのがありますね。

司会…親が疲れて帰ってきてため息ついていると、子どもは会社員になりたくないと感じてしまう、楽しそうに会社に行っているといいでしょうけど、子どもが小六の時に、何になりたいか聞いたらPTA会長つて言っていました。

A…それじゃ「食べていけないし(笑)」司会…楽しそうにやっていたのかなと思えます。

C…うちの子ども、なかなか自分の得意なものが見つからなかつたんですけど、高校の部活ですごくはまって、下手だけ楽しい。だから私はその関係の仕事をしたいと言っています。とりあえず好きになつてくれたのが嬉しいし、それについて口出ししないようにしています。心の中では「その仕事ってどうなの、大丈夫か？」と思つていますが、やっと自分で興味持つた分野だから一つ打ち込める物が見つかつて良かったなと思います。変わるかもしれないですけど。

司会…うちの高三の娘も同じ部活でした。すごく大変ですよ。宿題が終わらないんですよ、忙しすぎて。

C…でも楽しんでやっていますよね。もういいやと思えます。楽しそうなら

B…夢がそのまま職業になるって一握り。A…好きなことで食べて行ける人ってどれくらい？

「目標に向かつて、じゃあ今何やるの、それなりに成績とっておけば選択肢広がるように、この高校だったら選択肢二つあるけど、この高校だったら一つしかないよ。そういうことは承知しておきなさいよ」と言っています。

司会…意外とそうでもないところがあつて、上の高校に行くと「そんな仕事するの」と変なプライドがあるんですね。周りに流されて職業選択の幅をどんどん

ん狭めて、「ほんとに自分がやりたいことかな」と思う面もある。

A…一回就職したらずっと同じ仕事をやることも限らないし全く畑違いのことをやることもある。好きなことをとことんまでする時期があつてもいいと思う。昔は思えなかつたですけど。

司会…昔だったら転職怖いですよ。A…薬剤師、公務員とかになつてほしいですけど、やりたいことやつてうまくいけば儲けものだし、挫折しても後悔しないと思うんですね。経験したことからは

何かしら仕事見つけて生きていくんですよ。好きなことやらせてあげることが今は大事な事かと思つています。

どの職業が生き残るかもわからないし、生涯雇用なんて夢のまた夢ですね。トヨタですら「終身雇用は難しい」といっていますし、そうなるかと公務員？

C…むかしユーチューバーなんて職業なかつたけど、そこら辺の一流企業よりいっぱい稼いでいます。職業といえるかどうかわからないけれど、何がどう残つてくるかわからないし。何がなくなるかわからないし。

司会…お金だけで言うとそのほうがいいかもしれないですね。

A…大成功するのは一握り、あんな稼ぎ方があるのか、ほんとわからない、読めない。

B…夢はこれ、と決めなくても自分が人と話すのが好きだとか、一人でコツコツやるのが向いてるとか、方向性を決めるだけでもいいのかなと思えます。

司会…また戻りますが、自分の夢。実現できています？

C…そもそも自分の夢無かつたです。高校のときはうすうすと漫画家になりたいと思つていました。

D…私声優になりたかつた。今の時代だつたらすごかつたねって話。中学校の時に応募があつて出したんですよ。だけど、

名古屋で、学校があつて行けない、親もついてきてくれないから。

A…今、もしもなつていたら、野沢雅子、夢は大きく、そしたら旦那さんも違つていたかも。

司会…振り返つてみると惜しいこといっぱいありますよね。

C…漫画家で、すごい豪華して「先生」と呼ばれていたかもしれないですね。いろんな人の作品をみて、ぱつとあきらめた。

B…私、親に言われたのと、多少自分で考えて料理したり、食べたり食品関係が好きだつたんで、栄養士だつたら文系でもいけるかなと思つて栄養士になれる学校も受けたんですけど、結局文系の学校に行きました。その後は食品関係がいいかなと思つて食品関係のメーカーに勤めて、楽しかつたです。

結婚を機に退職して子育てが一段落して、働くときにたまたま思い出して食品関係で働いていたんですけど、そこに栄養士さんがいて、近くで似たような仕事ができるよつと楽しかつたです。方向性で言えば叶つたと思つています。

いくつになつてもチャンスはまだありますね。

司会…物作るのが昔から好きで、進字する中で、消去法で絞られて、地元のメーカーに勤めるようになって、社内のいろいろな開発の仕事に少しずつ関わる仕事しています。物作りが好きなので、一つずつ興味を持って観られるんですね。そういう意味で楽しいです。

B…好きなことは続きますね。子どもが中学生に上がつて、環境が変わつて、この前、就職活動してまた食品関係で働いています。決めるに当たつて、家庭はもちろん優先ですけど、やりたい仕事とのバランス、たとえば座つてやる仕事は楽だから、帰つてからも疲れなくていいと思つて、動いたり、人と話したり、そ

ちの方がいいかな、でも帰つてから大

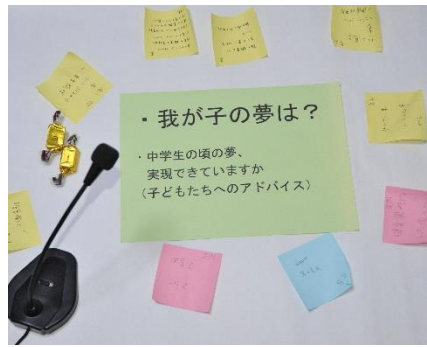
変だなと悩みました。でも仕事始めると自分の生活のほとんどが仕事になるので家庭を優先しつつ好きなことができるというかなど食品関係を選んだんです。司会：小学校の保護者の方と比べて、中学校の保護者の方は子どもが一段落ついて仕事の接点が増えて、PTAとかの集まりが悪くなっています。でもみなさん生き生きしてやっていますね。

E：はじめの仕事は、やりたいことなく、事務をやっていたんですけど、ある日突然、「情けは人のためならず」という言葉に出会って、ぐぐつときて、「こんなことしていたら駄目」と思って、それからポランティアを本当に時間を見つけてやっています。それから転職もしたんです。「対等じゃなくて、助け合うような仕事」がしたい、病院で働きたい」と思って、資格をがむしやらに勉強して、自分で選んだのが楽しくて、きついですけど、ひよんなこと、きつかけが、いつあるかわからない・・・子どもから「夢の宿題が出ただけどうしよう」と相談がありました。「いつ何があるかわからない、きつかけが大事」と見守っています。

司会：私もPTAとかやりたくないタイプだったんですけど、子ども会をやっているんならたちがいろいろなことを言ってくるのをうまくまとめて方向線をつけていくのが意外と面白くて。
A：意外に自分がいやだと思っていることが合うことがある。
司会：そんな流れの中で今年役員をやっているんですけど。

A：適任だと思えますよ・・・もう楽勝。司会：子どもが楽しんで、知らない保護者の方からお礼いわれると、ほんと嬉しくなります。企画から下見、やり出すと楽しい。自分の思わないところで才能が活かされると違う人生があったかも。
A：いろいろなことやるのも大事。
司会：やってみて向かないと思えばやめ

ればいいし、やらずに向かないと思うのはよくない。
C：やったら納得しますよね。やっぱだめだったかとか。
B：子どもにいろいろな体験させるのは大事ですよ。



D：親に「何にも夢ない」と言っていたら、舞妓さんの募集観てあんたいつたらといわれました・・・次はバスガイド、勝手なこと言つて。

司会：間口を広げてくれる親でありがたいですね。

D：あの頃、ラジオ聞いて舞妓の募集とか聞いて、「ひとりで行ってこーやー」とか言われました。

A：舞妓になつていたら今大人気。
C：もう少し選択肢を見せてくれればよかった。「勉強しろ」とは言われたけど、「何やりたいのとか何に興味があるの」と言われたことはなかった。漫画家なんでもつてのほかにないですか。あの頃は褒められたことでもなかったでそんなことも言えず、もう少し知っておきたかったな、中学のころ、こういう仕事もあるんだとか、これになるには何をしなければいけないかとか、今の子はすごくいいですね。

司会：確かに今の子どもたちは、職業について考える機会をたくさん与えられて。本日は、なかなか聞けないよその職業選択の考え方について話し合いをするいい機会になったと思います。本日はありがとうございました。

※書けないような本音トークも含め、たくさん話題が有りましたが、なんとか三ページに収まるように編集しました。

A：お母さんご自身の体験も踏まえて、現在の子育てを意識していらつしやるご家庭とか、お母さんご自身のお母さん(おばあちゃん)などが言っているのと同じだったことがそのまま今の子育てに反映されているかと言えはそうでも無くて、反面教師だったりしてなかなか興味深くお話を伺えました。

B：普段、ほかのご家庭の教育方針や考えなどを聞く機会もないので、とても貴重な経験でした。また、自分の考えや体験を話すことで自分の中で再確認できた事もありました。ありがとうございました。

C：将来について、職業選択について、正解はなくマニュアルも無い中で、みなさんと話すことで改めて親としての自分の考えと向き合い、また他のご家族、親さんの考えも興味深く聞くことができ、とても有意義な時間になりました。

D：よそと我が家と比較して改めて仕事について考えるいい機会となりました。ありがとうございました。

E：夢は大切だと言っけれど実際には目の前のテストに対して必死の日々で、いざ夢を語るのには簡単そうで難しく、それは歳を重ねるごとに現実味を帯びてしまい、簡単に口に出すのが難しいと感じました。私たちが親に出来ることといえば、いざ子どもから聞かれた時に情報を提供するとかかな、と思い(引出を増やさないと・・・笑。日々勉強です)子どもと普段から話しやすい関係を保ち、子どもの話を最後まで聞いてあげる事が大切なのかなと思っていました。

中学生なら、ただ夢を語るだけでなく、リスクも考えることもできるので、なりたい職業について一緒に付き合つて調べ、それでもなりたいと思えるものに出会えた時に初めて夢に向かう事が出来るような気がします。私たちの時代は調べる手段があまりありませんでしたが、今この情報社会を活用して色々な職業を知ってほしいなと思いました。今はどんな職種も専門性を求められていると思うので我が子がちゃんと社会人として自立できるのか果たしてわかりませんが、歳を取っても勉強が終わることはありませんよね、常に学ぶ姿勢であつてほしいと思います。

職場体験



職場体験に参加して

2年3組 喜多川 晟汰 (柳津公民館・図書室)

図書室での体験は、1日中動いていました。ぼーっとしていたら1日の仕事が終わらないので自ら動くことが大切だと思いました。

また、職員さんの話で、仕事はやりがいや楽しさを見つかけられると続けられることがわかりました。

2年4組 日比野 奈保 (喜の里)

職場体験では、スタッフの方々が、利用者の方の身になって安全に仕事を行っている姿が心に残っています。「人の役に立ちたい」という思いがないと務まらない仕事だと思いました。この体験を通してやりがいもある反面、大変な仕事だと思いました。

地域交流活動(1年生)



こぼと第3幼稚園



岐阜朝鮮初中級学校



鶉保育園



佐波保育所



いづみ中央幼稚園

クラス	訪問先
1組	こぼと第3幼稚園
2組	岐阜聖徳学園大学附属幼稚園
3組	岐阜朝鮮初中級学校
4組	鶉保育園
5組	鶉保育園
6組	佐波保育所
7組	いづみ中央幼稚園
8組	喜の里
9組	岐阜聖徳学園大学附属幼稚園

後期生徒会



生徒会長 丸山小鉄

「明るく元気で楽しい境川中学校」
 僕はこんな学校にしていきたいです。
 これは僕だけではなく、絶対みんなも
 思っていることだと思います。だから、
 とても行動に移しやすいと思います。
 休み時間の楽しみ方は、人それぞれ
 違います。学校が楽しいと思う一番
 は授業が楽しくなることだと思います。
 だから、僕たち生徒会から、授業が
 楽しくなったり、日常の雰囲気を良く
 していきたいような活動をたくさん企画
 していきたいです。

こんな境川中になりたい!

続

広報紙作りの現場から

和気あいあい(広報委員の働き方改革)

平成30年度より始まったペーパーレス化、今まで印刷業者が行っていた制作作業を広報委員で実施することになり、制作、編集作業のほか、安定的な人材の確保などが大きな課題になっています。

158号では、当初掲げた目標「和気あいあい(広報委員の働き方改革)」を実践するべく、継続できる紙面作りを目指して、さまざまな制作方法に取り組みました。

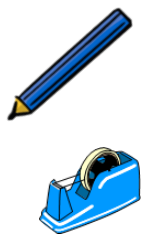
紙面作り・ローテク編

(合唱フェスティバル)

誰でも制作作業ができるよう合唱フェスティバル(2頁)では、敢えて糊とハサミの紙面作りにチャレンジしました。

一旦印刷した写真をB紙に貼り付け壁新聞を作ってから全体の写真を撮って紙面にする方法をとりました。写真の解像度が大変悪くプライバシー問題を解決すること、大勢が作業に参加できることなどが良いようです。

文字のコントラストが悪いので、結果的にパソコンでの修正作業が必要でした。コントラストの良いスクリーンで取り込めるようA3で作成するのが良いようです。



B紙に写真を貼り付け

紙面作り・ハイテク編

(夢特集アンケート)

集計作業が面倒で敬遠されがちなアンケートにITを活用してみました。対象は夢特集、2年生276人です。

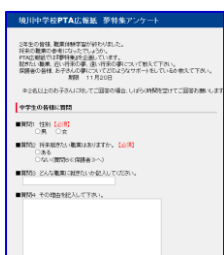
紙によるアンケートに加え、ホームページからも回答できるように準備し、できるだけホームページから回答頂くようお願いしました。

ホームページから頂いた回答はメールで届き、少加工をして表計算で集計します。

一方、紙で頂いた回答は、広報委員で手分けして手入力で表に追加記入しました。

かかった集計時間(表の作成のみ)は、紙がwebの28倍、一件あたりでも16倍となりました。(web集計は、何件でもほとんど変わりません)

仮に3学年で実施し、全員の回答があった場合、紙の集計なら38時間、webなら10分、大幅な時間短縮ができそうです。今後の活用を期待できそうです。



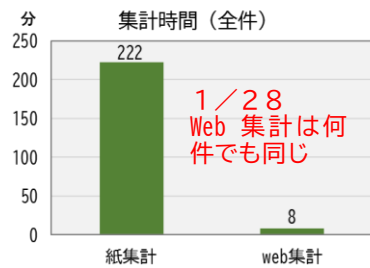
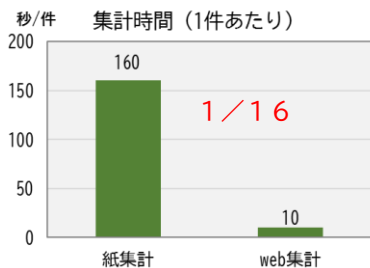
【回答ページ(web)】



【配布したアンケート】

【実施結果】

紙の回答 84件(65%)
web回答 46件(35%)



ホームページ掲載にこだわりたい紙面作り

紙面の制作方法の見直しと並行して、紙面の内容も議論しました。158号では、従来の内容を残しつつ、紙面イメージを大きく変えました。

背景には、学校の発行する通信やホームページとの重複、写真や氏名の掲載によるプライバシーの問題がありました。

そこで、保護者、教職員、地域へ情報発信する「PTAの広報紙」を再認識し、従来の紙面作りにとらわれず特集記事・新企画を重視するよう進めてきました。

ペーパーレス化は、ページ数(費用、奇数ページでも可)を気にすることなく制作できる点で有利でした。

学校行事

学校側の写真のチェックの負担を考慮し、あまり凝らずに過去の広報紙を参考に簡単に制作しました。広報委員の皆さんが参加するイベントの一つと考えて、取材活動を中心に活動に取り組みました。(写真)

プライバシー(卒業ページ・教職員紹介)

これまで、卒業ページは、生徒全員の寄せ書きなどが定番でしたが、「名簿を載せるのと同じ」との声があり、先生のメッセージのみにする予定です。教職員紹介では、一人一人写真付きで紹介するのをやめて集合写真で紹介する配慮をしています。

特集記事・新企画

保護者の視点で「学校の一日」、地域の方たちや、警察署と情報交換しながら取材した「ボランティア」、「中学生を見守る人々」、「夢」をテーマに広報委員の雑談を編集した「座談会」など、広報委員が楽しんで参加できる紙面を企画しました。一年間「和気あいあい」と活動できたと思います。

足あと



ホームページ掲載に変更して2年が経過しましたが、その間いろいろな議論があり、今の形に落ち着いてきました。広報委員が入れ替わっても引き継げるよう紙面の一部お借りして「広報紙作りの現場から」として記録に残しました。



【取材しながら間近で観戦】

祝・卒業

「しなやかに」将来を切り拓く 校長 多田 積央

ユーチューバーが、なりたい職業の3位にランキング、サイト広告収入が、年間一千万円を超える高校生管理者の出現など、ネット社会の急速な発展によって、以前では考えられなかった状況が起きています。「粘り強く」「汗を流して」などの根性論や勤労観を謳っても、空しく感じられる時代になったのでしょうか？ネットに経済的成功のステージが生まれたのは真実。ビッグチャンスを狙うのもありでしょう。一方でやはり、社会は人と人とが関わり合って形成するもの。その中で「役に立ちたい」「喜んでもらいたい」などの本来の願いは、今後も変わることはないはずです。どんな志を描き、どんな職に就いてそれを実現していくのかを、今後も続く社会の変化に、自らの志を照らして考えてください。そして、大きく方向を定めて歩んでください。それが「しなやかに」将来を切り拓くことです。卒業おめでとう！

教頭 兎山 章浩

「努力をすれば報われる？」そうじゃないだろ。報われるまで努力するんだ。

これは、世界トップレベルのサッカー選手「メッシ」の言葉です。努力したからといって必ずしも報われることばかりではありません。だからと言って、努力し続けなければ、報われるチャンスを掴めないのです。

この3年間、なりたい自分に向かって様々なことに努力し続けてきたことでしょう。

これからも努力し続けてください。

教頭 長谷川 圭奈

「なりたい自分」の実現に向けて努力してきた3年間で大きく成長してきたことと思います。これからは変化が大きな時代だと言われていますが、新しい時代を創造していくことができるとも言えます。自分の力を発揮して力強く歩いてください。でも、困った時には誰かに助けを求めてくださいね。きっとあなたにやさしくよりそってくれる人がいるはずです。ご卒業、おめでとうございます。



3 - 8

3年1組 下川 美佐子

3年前に入学してきたかわいい子たち。大きくなったね。逞しくなったね。卒業までの日、廊下ですれ違ったり授業で思いきり歌ったりする姿を見て、成長を感じる毎日でした。「給食おそーい！リーダーしっかりしな！」と大きな声を出しながらも、せつせと動く様子はかわいい皆でしたよ。でも、巣立っていくのには、もっと力つけていこうネ。人の気持ち考えようね。命を大切にしようね。そして、次会う時は笑顔で会おうね。それまでさよなら。



3年3組 福井 裕生

3年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。3組は、4月学級がはじまったときから、大きな声でよく笑い、元気いっぱいなスタートでした。そんなみなさんと過ごす1年は、毎日が楽しく、あっという間の1年でした。

“笑う門には福来たる” どんなときも、笑顔を忘れず明るくいれば、きっと幸福がやってきます。希望に満ちた大空へ、羽ばたくみなさんにたくさんの幸せが訪れますよう祈っています。

学年主任 伊藤 浩

「小さいことを重ねることが、とんでもないところへ行くただ一つの道」 数々の記録を打ち立て、昨年現役引退したイチローさんの言葉です。誰にも目標があると思いますが、そこに到達するには地道な努力を積み重ねるしかないということですね。また、「プロになってからは、バットを振る仕事は全然おもしろくなかった。」とも言っています。今後、様々な困難が待ち受けていますが、自分の武器を生かして立ち向かっていってください。



3年2組 高橋健治

3年前、みなさんと共に、境川中学校に来ました。そして、今日を共に迎えることができ本当に嬉しく思います。毎日がドラマチックでした。学級は学校の家族！たくさん笑ったし、時には怒ったり悲しんだりしました。自分が本当に思っていることを本気で伝える姿を見て、毎日、勇気をもらっていました。実際、教えることより、みんなから教わることが多かったです。Be Professional.何か一つ、夢になれることを究めて！それが道となる！！



3年4組 野田 明里

ご卒業おめでとうございます。

4月にみなさんと出会い、一緒に過ごした1年間。振り返ると、いろいろなことがありました。楽しいことやうれしいことだけでなく、悩み苦しんだことも多かったと思います。でもその度に、自分と向き合い、仲間と話し合い、何とかして前に進んでいこうとするみなさんの姿には、大きなエネルギーを感じました。

「♪心の中にひとつの予感～」これからそれぞれが踏み出す新しい一步を応援しています。



3年6組 赤地 佳澄

ご卒業おめでとうございます。

義務教育を終え、これからは自分の進む道を自分で選び取っていくことになります。自分で決めたからには、後ろを振り返らず前を向いて精一杯歩いていってほしいと思います。

最後に私の好きな歌を送ります。

「(前略)小さな物語でも、自分の人生の中では誰もがみな主人公(中略)私の人生の中では私が主人公だと」

さだまさし「主人公」より



3年5組 長谷川 実加

ご卒業おめでとうございます。

日常生活も行事も精一杯頑張ることができたね。時には思うようにならなくて悩んだり、あきらめそうになったり…。それでも自分の努力や仲間の支えで「やさしい花」をたくさん咲かせることができたね。

これからは、一人一人が別々の所で自分の目標に向かっていくことになります。自分を信じ努力する強さと、周囲と支え合う優しさを持ち、これからも「やさしい花」をたくさん咲かせてください。今のみんなは、「やさしい花」のつぼみでいっぱいですよ。

3年7組 國島 智也

卒業おめでとうございます。中学校の3年間で体験したことは、人生の中ではほんの一瞬ですがかけがえのない経験です。行事や部活動で一生懸命頑張ったことは、何物にも代えがたいものです。体育大会や合唱フェスティバルで勝ち負け以上にやりきったという思いが顔にでるような取り組みをしてきたことが本当に良かったと思います。これから、それぞれ進む方向は違うかもしれないけれど、困難を乗り越えて、目指す姿を追求しつづけていきましょう。



3年8組 岸本 友梨

ご卒業おめでとうございます。3年前、みんなと初めて出会った4月。緊張した面持ちで席に座りながらも、目をきらきら輝かせ、これから始まる中学校生活に期待をもっていたみなさんの顔を今でも覚えています。それから3年。「なりたい自分」を常に見据え、日常や行事の中で仲間と共に互いに成長してきましたね。苦しい時も踏ん張ってきたからこそ今がある。これからも様々な経験をしていくことでしょう。でも「自分はこうやって生きていく」と決めたことを貫き通せる自分でいてくださいね。

すみれ1組 新居 豊子

ご卒業おめでとうございます。みなさんと出会い一緒に過ごせて、幸せでした。

人は、一人では生きていけません。みんなの周りには、一緒に笑い泣き悩んでくれる仲間がいます。一緒に考えアドバイスをくれる人生の先輩がいます。いつもどんなときも、支え見守ってくれる家族がいます。

感謝の心を大切に、自分の人生、精一杯前を向いて歩んでください。応援しています。



すみれ2組 野村 佳世

3年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。みなさんとは、昨年の英語の授業で一緒に勉強しました。仲間と楽しく活動し、学びを深める姿がすばらしいと思いました。

新しい道を行んでいくとき、たくさんの出会いがあると思います。一瞬一瞬のすべての出会いに感動し、感謝できる人であってください。その出会いがみなさんを支え、成長させてくれるはずです。みなさんの夢が叶うようにいつも応援しています。

料理講習会

保健体育委員会
12月12日 もえぎの里
参加者 30名

メグミルクさんから講師をお招きし、料理講習会を実施しました。
「牛乳・乳製品をおいしく和食に！」というテーマで、五つの料理を作りました。
参加された方は、和気あいあいとした雰囲気の中で手際よく調理が進み、予定より早く完成しました。
参加した方からは「楽しかったし、美味しかった」など意見を頂きました。



クリスマスリースづくり

成人教育委員会
11月14日 鶉公民館
参加者 30名

長良園芸、安藤由美子先生を講師にお迎えし、校長先生、PTA会長もご参加いただき、壁飾りタイプの「スワッグ」と呼ばれるリース作りの体験を行いました。

スワッグは花や葉を変えることで季節にあった飾りになるそうです。
参加者の方からは「これなら一年中癒される」「センス良くランダムに重ねていくのが難しい」などといった感想を頂きました。
製作しながら「これどう?」「いい感じかなあ?」と和やかな雰囲気で作ることができました。



校長先生、PTA会長さん

保健体育委員会

保健体育委員長 山田奈美江

「心も身体も健やかに」をテーマに、皆さんが笑顔になれるような活動を心がけて取り組んで参りました。「とても役に立った」「また参加したい」などという声をたくさん頂き大変嬉しいと思いました。

私自身もさまざまな貴重な体験をさせて頂きとても多くのことを学びました。最初は大変だろうなと思っていたのですが、活動させて頂く度、楽しくなっていました。すごく充実した時間を過ごさせて頂きました。

無事に委員会活動を終えることができたのも先生方、保護者の皆様、そして協力して下さいました委員の皆様のおかげであると心より感謝しております。

一年間本当にありがとうございました。

成人教育委員会

成人教育委員長 平澤いづみ

本年度家庭教育学級は「希望。仲間と共に生きる力を育てよう」をテーマに開催しました。参加された皆様と、学び体験したりして交流を深めることが出来ました。たくさん笑顔で「楽しかったよー、参加来年もしたいなあ」とお声を頂きました。

多くの方々に助けられまして、最後まで開催することが出来、ほっとしております。

参加して頂いた皆様、協力して下さいました委員の皆様、執行部、先生方に心より感謝しております。

一年間、楽しく笑顔で出来ました。本当にありがとうございました。

地域生活委員会

柳津川口 育美
鶉 西尾 真紀子
且格嶋田 敏江

一年間、保護者の皆様には各地区にて、様々な活動にご協力頂きましてありがとうございました。

登下校指導、資源回収、郊外パトロールと委員会活動も無事に終えることができました。

活動を通して、少しの時間でしたが子供たちの様子や成長を見ることができ嬉しかったです。

各活動に参加、ご協力をいただきました先生方、委員の皆さま一年間ありがとうございました。

学年委員会

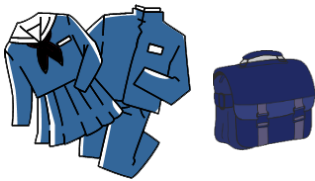
一学年 足立 真喜子
二学年 伊藤 朋美
三学年 牛田 裕美

学年代表という大役をさせて頂き、あつという間の一年間でした。短い間ではありましたが、役員の皆様、教職員の皆様、地域の方々のおかげで貴重な経験を得ることができました。ありがとうございました。

最後の活動といたしまして、三月二十二日(日)に学用品リサイクルを行います。保護者の皆様リサイクル品の提供をよろしくお願いいたします。

学用品リサイクルご案内

【回収】
期間：3月13日(金)
～19日(木)
場所：南舎北側の昇降口
(段ボール箱)
【リサイクル】
日時：3月22日(日)
AM10～11時
場所：校舎東側駐輪場



編集後記

広報委員長 安田正弘



足かけ二年広報紙作りに関わらせてもらいました。昨年は、製作作業だけ、今年はさらに委員長を務め、無事一五八号を発行することができました。

今年は、円滑に委員会活動ができるよう「和気あいあい」広報委員の働き方改革と目標を掲げスタートしました。一緒に広報紙を製作してくれた広報委員の方から頂いた感想を掲載させていただきます。

Aさん：参加の方法が、取材、会議、家でできるパソコン作業、データ入力など多岐にわたっていたので、自分のできる範囲で参加しやすかったです。

Bさん：体育大会を担当させて頂きました。写真撮影、写真選定をとても楽しくさせて頂きました。学校の中の子どもたちに触れることができて、良い経験になりました。

Cさん：広報委員を一年間務めさせて頂きました。紙面からホームページ発行に変わり、パソコンも苦手ということもあり、あまり協力することができませんでしたが、境川中学校の年間を通しての行事や活動に触れることができ、いい経験になりました。

Dさん：今の広報紙は、仕事分担当がやりにくいので大変だと感じました。広報要にパソコン、プリンターがあると良いと思いました。フライパシーに配慮して、子ども、保護者用に配布する紙の広報紙も併せて発行してもいいと思いました。

Eさん：直接顔を合わせて作業することはほとんどありませんでしたが、集まって話をするときには楽しく過ごせて良かったと感じました。

Fさん：広報委員会は大変忙しい仕事だと思いましたが、委員長さんにお任せになってしまいました。補佐することがなかなかできなかったです。

当初広報委員に当たった方は「広報は大変」と思っていた方が多かったようですが、少なくとも委員の皆様には目標を達成できたと思っております。ただ、今年の場合、パソコン作業ができる方が少なく、結果的に広報委員長の負担が大きかったです。来年以降、パソコン作業の負担を分担する、アウトソースするなどして減らすことが必要と感じています。大変な二年間でしたが、新しいスタイル広報紙を作り上げ、得るものも大きかった二年間でした。二年の間に関わって頂いた広報委員、教職員、執行部の皆様のご協力に大変感謝しております。